
宗教と音楽

1. 担当教員

- ・名前:武田祥子(たけださちこ)
- ・研究室:なし 非常勤講師室または講堂ホワイエ
- ・連絡先:

2. 授業の目的

- ・J.S.バッハやG.F. ヘンデルに続く古典派以降の宗教音楽作曲家たちの作品に触れ、ミサ曲についても知る。
- ・校歌や聖母賛歌、また、復活祭やクリスマス等の様々な季節の聖歌を知り、歌う。

(2) 到達目標

- ①古典派以降の宗教音楽作曲家たちについて、彼らの人となりを知り、作品を鑑賞する。
- ②校歌や聖歌について知り、歌唱する。
- ③ミサやミサ曲について知る。

(3) ディプロマポリシーとの関連

『本科目は、人間学部のディプロマポリシー「共通科目の多角的学際的な学びを通じた、自然・人間・社会等について幅広い知識を探求する能力と専攻分野にとらわれない広い視野を持ち、豊かな教養と感性を身につけている。」に基づき、特にミッションスクールの学生であることや、キリスト教音楽による感性を養うこと、カトリックの知識・教養を身につけることを目指す科目である。

3. 授業の概要

- ・音楽史上、古典派以降の宗教音楽作家と言われた人々——例えば、J..S.バッハ、G..F. ヘンデル、ベートーヴェン、フォーレ等——の生き方を知り、実際に彼らの作品を聴き、現代日本への影響について考える。
- ・ミサについてその形や意味、また、ミサ曲についての知識を広め、日本のカトリック教会で歌われているミサ曲についても知る。

4. 授業の受け方・勉強の仕方

・授業の受け方・復讐の仕方

講義と実技。教科書は使わず、必要に応じてプリントを配布。

ページ数に少ないものでよいので、ノートを用意すること。

歌うことができるのは、神様が人間だけに下さったお恵みなので、精一杯歌うこと。

特に予習・復習と言う形ではないが、授業で聴いた音楽の理解をすすめるために、各自関連のある曲を聴くとか、あるいは、本も読んでもらいたい。

5. 受講にあたってのルール

- (1) 受講時に私語・携帯電話・スマートフォン等、また講義に関係のない行為は禁止する。
- (2) 遅刻をしないこと。欠席回数や遅刻回数は平常点に反映する。

シラバス(公開版)

(3) 課題提出にあたっては、提出期限を厳守すること。また、盗作・剽窃をしないこと。

* 課題については、授業時に説明します。

6. 授業計画と予習・復習の内容及び必要な時間

回	テーマ・内容	予習・復習	備考
1	オリエンテーション…授業の進め方 仙台白百合女子大学の校歌と関連事項について知る。ジャンヌ・ダルクについて		
2	ミサについて…① ミサ式次第、ミサ曲 校歌、教会暦 聖母賛歌		
3	ミサについて…② 日本のカトリック教会で歌われているミサ曲について 校歌、聖母賛歌		
4	聖母賛歌 いろいろな作曲家のアヴェ・マリアを聴く。		
5	ミサについて…③ 聖歌、J. S. バッハ…①		
6	J. S. バッハの音楽…②		
7	G. F. ヘンデル…① 聖歌		
8	G. F. ヘンデルの音楽…② 聖歌		
9	仙台白百合女子大学の守護の聖人である、聖パウロについて L. v. ベートーヴェンについて…①		
10	L. v. ベートーヴェンの音楽…② 聖歌		
11	F. P. シューベルトの音楽…① 聖歌		レポートの課題提示
12	F. P. シューベルトの音楽…② 聖歌		
13	F. メンデルスゾーンについて…① 聖歌		
14	F. メンデルスゾーンの音楽…② 聖歌		
15	フォーレ：レクイエム レポート提出		
予習・復習			

※ 授業の展開によっては、変更の可能性があります。変更の場合には随時お知らせします。

7. 評価方法(テスト、レポート、課題等へのフィードバックの方法も含む)

- ・ レポート 70 点
- ・ 出席日数・授業態度 30 点
- ・ 欠席回数が 6 回以上は『停止』とする。

8. 履修上の注意

受講に際して、心配や不安なことがある場合は、必ず 2 回目の授業までに担当者に相談してください。事情によっては、レポートなどの代替課題を課すなどの、特別な配慮を行う場合があります。